



本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

株式コード: 2876





目次

頁 I. 業績動向について

- 4 連結損益計算書
- 6 連結貸借対照表
- 7 キャッシュ・フロー推移
- 8 セグメント別実績
- 9 事業部別売上高月別前期比の推移
- 10 食料品事業 販売先状況

頁 II. 今期の見通しについて

- 12 2014年3月期の見通し
- 13 配当政策について

頁 皿. 会社概要と経営戦略

- 15 会社概要
- 16 沿革
- 17 ジェーシー・コムサグループ概要
- 18 ジェーシー・コムサグループの基本方針
- 19 海外事業への取組み
- 20 英文コーポレートサイトを開設しました!
- 21 生活のあらゆる場面で食の楽しさをご提供!

頁 IV. 事業別企業紹介

- 23 デルソーレ・ブランドサイトを開設しました!
- 24 食品事業の主要商品について(市販商品)
- 25 市販・業務用新製品のご案内(2013年春夏商品)
- 27 食品事業"小麦ごはん"キャンペーン
- 28 外食事業のブランド展開について
- 30 鯛焼き事業展開について
- 31 ケータリングサービスについて
- 32 宅配事業のブランド展開について







2013年3月期 連結損益計算書

- 売上高は計画を上回り、前年度比101.9%
- ・ 営業利益は前年度比103.9%、経常利益前年度比110.4%と前年を上回った。

単位:百万円

	2012/3	構成比	2013/3	構成比	増減額	前期比(%)
売上高	15,999	100.0%	16,309	100.0%	309	101.9%
売上総利益	6,796	42.5%	6,957	42.7%	160	102.4%
販管費	6,005	37.5%	6,135	37.6%	130	102.2%
営業利益	790	4.9%	821	5.0%	30	103.9%
営業外収益	15	0.1%	45	0.3%	29	293.2%
営業外費用	79	0.5%	65	0.4%	▲ 14	81.3%
経常利益	725	4.5%	801	4.9%	75	110.4%
特別利益	_	I	1	0.0%	1	_
特別損失	214	1.3%	262	1.6%	47	121.9%
税金等調整前当期純利益	510	3.2%	540	3.3%	29	105.8%
当期純利益	414	2.6%	184	1.1%	▲230	44.4%
1株当たり純利益(円)	50.81	_	22.44	_	▲28.37	44.2%

I. 業績動向について

2013年3月期 連結損益計算書

2008年以降、不採算商品の絞込みや不振外食店舗の閉店により売上高は ほぼ横ばいの推移。

単位:百万円 売上高 当期純利益 1|5999 2008年 2009年 2010年 2011年 2012年 2013年 2014年

売上高 → 当期純利益

2013年3月期 連結貸借対照表

単位:百万円

	2012/3	構成比	2013/3	構成比	増減
流動資産	5,028	56.5%	5,078	57.5%	50
現預金	1,993	22.4%	1,890	21.4%	▲ 102
売上債権	2,279	25.6%	2,250	25.5%	▲28
棚卸資産	529	5.9%	685	7.8%	156
固定資産	3,877	43.5%	3,748	42.5%	▲128
有形固定資産	2,214	24.9%	2,031	23.0%	▲183
無形固定資産	51	0.6%	41	0.5%	▲ 9
投資その他の資産	1,611	18.1%	1,675	19.0%	64
資産合計	8,906	100.0%	8,827	100.0%	▲ 78
流動負債	3,342	37.5%	3,482	39.4%	140
固定負債	2,598	29.2%	2,292	26.0%	▲306
負債合計	5,940	66.7%	5,774	65.4%	▲166
純資産合計	2,965	33.3%	3,053	34.6%	87
負債·純資産合計	8,906	100.0%	8,827	100.0%	▲ 78

- 当連結会計年度末総資産は88億27百万円となり、前期比78百万円の減少。これは主に、棚卸資産が増加した一方で、減損損失の計上により固定資産価額が減少したことによるもの。
- 負債合計は57億74百万円となり、前期比1億66百万円の減少。これは主に、長期借入金の減少があった 一方で、資産除去債務が増加したこと等によるもの。
- 純資産合計は30億53百万円となり、前期比87百万円の増加。自己資本比率は34.6%。

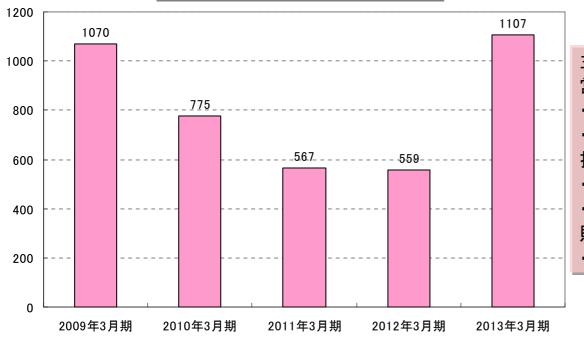
I. 業績動向について

キャッシュ・フロー推移

単位:百万円

	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3
営業キャッシュ・フロー	1,070	743	665	658	1,066
投資キャッシュ・フロー	0	31	▲98	▲98	40
財務キャッシュ・フロー	▲1,339	▲838	▲650	▲278	▲1,028

フリーキャッシュ・フローの推移



主な増減要因 営業CF

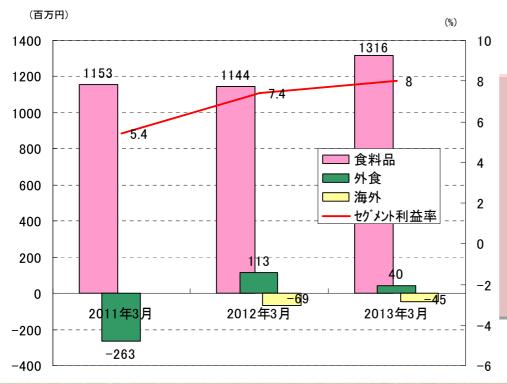
- ・売上債権の減少(+)
- ・たな卸資産の増加(-) 投資CF
- ・定期預金の払戻し(+)
- ·有形固定資産の取得(-) 財務CF
- ・長期借入金の減少(-)

2013年3月期 セグメント別実績

単位:百万円

		2012/3		2013/3			
	売上高	セグメント利益 利益率		売上高	セグメント利益	利益率	
食料品	10,121	1,144	11.3%	10,604	1,316	12.4%	
外 食	5,877	113	1.9%	5,704	40	0.7%	
海外事業	0	▲69	_	_	▲ 45	_	
合 計	15,999	1,188	7.4%	16,309	1,311	8.0%	

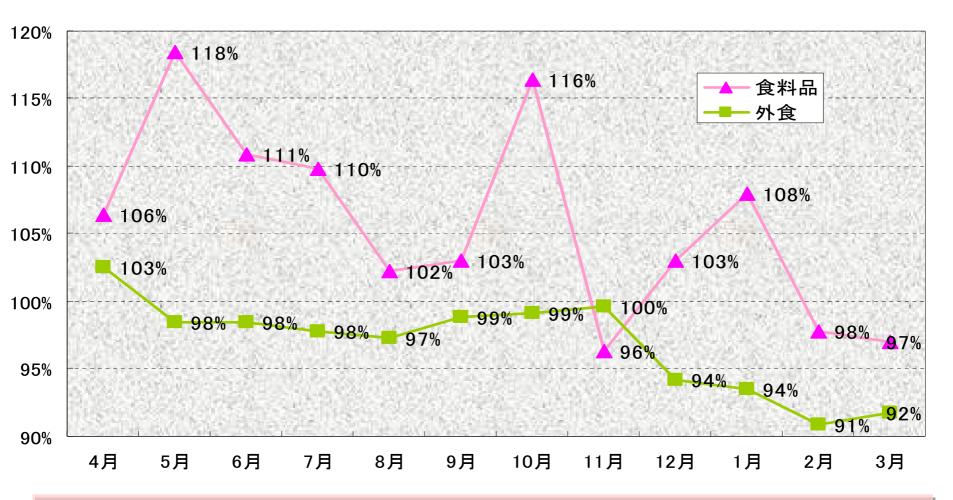
(2012年3月期より組織変更に伴い「食料品事業」「外食事業」「海外事業」に変更しております。)



- 食料品事業は商品戦略、価格戦略が計画 通り進み、売上高は前年度比483百万円 増となる。
- ・ 外食事業(含む宅配部門)は引き続き店舗 オペレーションカの強化に努めるが、不採 算店舗の整理を進めた事により売上高は、 前年度比172百万円減となる。
- セグメント利益においては食料品事業は前年度比115%、外食事業は店舗整理に伴うコスト増で前年度比35%となる。

I. 業績動向について

事業部別売上高月別前期比の推移



- ・ 食料品事業は小売向け売上が伸長し、年間を通じて104.8%の増加となった。
- ・ 外食事業部は前年度比91%から103%の間で推移

I. 業績動向について



食料品事業 販売先状況

販売先別売上高の推移

業務用の内訳の推移

■ 業務用 □ 市販用 □ 生協 □ その他

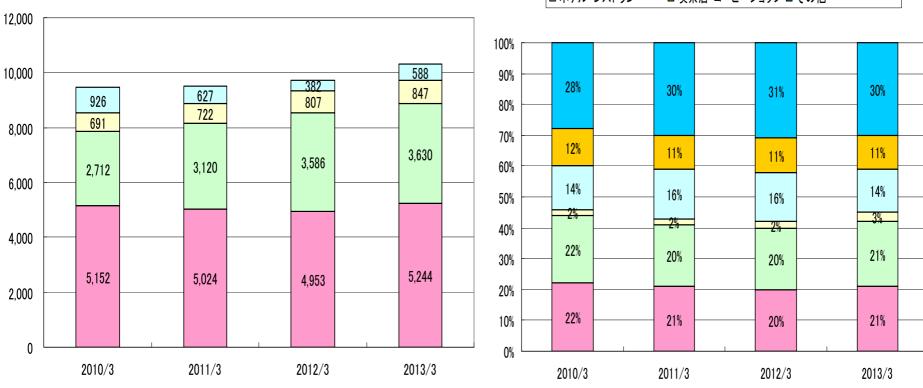
単位:百万円

□ 居酒屋・カラオケ等 □ 宅配ピザ関連

□ 給食関連

□ホテル・レストラン

□ 喫茶店・コーヒーショップ □ その他



- ・ 市販は、イタリアンピザシリーズが昨年比2桁増(生ハム135%、バジル133%)
- ・ 業務用は、PB品が好調
- 業務用売上構成については例年と変わらず



2014年3月期の見通し

単位:百万円

	2013/3	構成比	2014/3 計画値	構成比	前期比(%)
売上高	16,309	100.0%	17,000	100.0%	104.2%
営業利益	821	5.0%	700	4.1%	85.2%
経常利益	801	4.9%	700	4.1%	87.4%
当期純利益	184	1.1%	300	1.8%	162.9%
1株当たり利益(円)	22.44	I	36.55	1	I

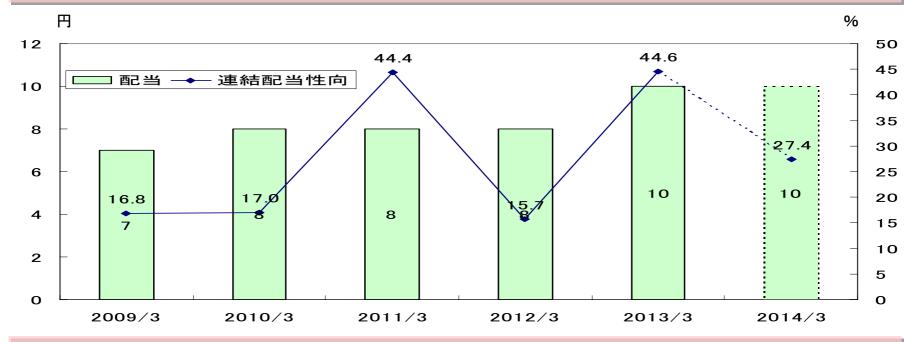


- 2013年度は小麦粉などの原材料価格の変動、国内景気の回復が遅れているなど引き続き厳しい経営環境が予測される。食料品事業部、外食事業部共に外部環境の変化に備えた対応力のある事業ポートフォリオの構築を目指し、当期純利益300百万円を見込む。

Ⅱ. 今期見通しについて

配当政策について

- 2013年3月期は会社の継続的発展のために、財務体質を更に強化し将来に備えるとともに、株主の皆様に対する適正かつ安定的な利益の還元を経営の重要政策として位置づけ、期末配当金については下記の基本方針に則り、前回予想の5円に5円増配し、1株につき10円配当とする。
- 2014年3月期は原材料等の高騰など厳しい情勢ではあるが、財務体質の強化を見据え10円配当を予想している。内部留保資金については将来にわたる生産設備の増強及び物流体制の強化、又ブランド戦略に沿った出店のための資金需要に備える。



配当政策に関する基本方針

・ 株主の皆様に対する利益配分を経営の最重要課題の一つであると認識しており、業績の反映及び今後の 事業計画、財務状況等を総合的に勘案したうえで実施することを基本方針とする。

今後予想される経営環境の変化に対応すべく、将来の事業展開と経営体質の強化のため必要な内部留保 を確保しつつ、業績に裏づけされた利益還元を行っていく。











会社概要

・ 社名 株式会社ジェーシー・コムサ

· 本社 東京都渋谷区恵比寿南一丁目15番1号

· 設立 1964年(昭和39年)11月19日

· 資本金 8億2,381万円

· 売上高 163億9百万円(2013年3月期)

· 発行済株式数 8,477,890株 · 従業員数 社員322名

・事業内容・食料品の製造・加工及び販売、外食産業、その他

・ 食料品事業(ピザ関連事業)

· 営業所 東日本支店 全国市販グループ(東京都稲城市)

名古屋支店(名古屋市東区) 大阪支店 (大阪市淀川区) 九州支店 (福岡県古賀市)

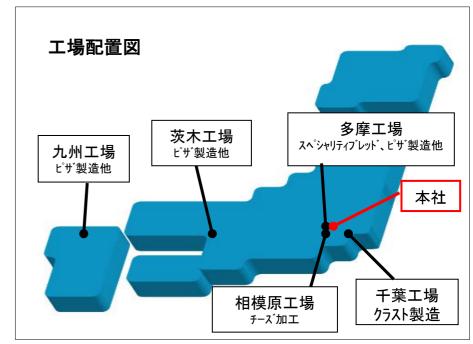
自社工場 多摩工場(東京都稲城市)

千葉工場(千葉県成田市) 茨木工場(大阪府茨木市) 九州工場(福岡県古賀市)

相模原工場(神奈川県相模原市)

グループ会社 爵士客香港控股有限公司

日爵海食品貿易(上海)有限公司



Ⅲ. 会社概要と経営戦略

沿革

(株)ジェーシー・フーズネット

- 1964 (株)ジェーアンドシーカンパニー設立 米国から冷凍ピザ輸入販売を開始
- 1965 目黒工場建設 ピザ自社製造を開始
- 1969 九州工場建設 ピザの全国販売開始
- 1981 (株)ジェーシー・フーズに商号変更
- 1982 東京工場建設 ピザの量産体制を確立
- 1985 宅配ピザ「ドミノピザ」に食材供給開始
 - (株)ジェー・シー・シー設立(三菱商事(株)との合弁)
 - チーズの加工製造を開始
- 1993 日本証券業協会に店頭登録銘柄として登録
- 1996 デルソーレブランドで販売開始
- 1997 多摩工場新設

(株)コムサネット

- 1980 日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)(略KFCJ)
 - が(株)インターナショナル・プロセス・フーズを設立
 - KFCJ向けスモークチキン製造受託開始
 - KFCJ直営店「京鳥」1号店「下高井戸店」開店
- 1988 KFCJから「京鳥」の営業譲渡
 - 外食事業を開始
- 1993 新規事業串焼き処「一番どり」1号店を「新小岩駅前
 - 店」に開店

(株)ジェーシー・コムサ

- 2003 (株)ジェーシー・フーズネットと(株)コムサネット合併、
 - (株)ジェーシー・コムサ設立
 - (株)ファンシーコーポレーションを子会社化
- 2004 「ISO9001:2000」の認証を登録
 - 日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券取引所に上場
- 2005 多摩工場スペシャリティブレッド(エスニックブレッドを含む)用新ライン増設
- 2006 (株)ファンシーコーポレーションが(株)ほのぼの運動を設立
- 2009 (株)ビーデリサービス設立
- 2010 新ブランド「やくも八景」コレット・マーレみなとみらい店オープン
 - 事業開発本部設立(海外事業への足場づくり)
- 2012 (株)ファンシーコーポレーション・(株)ベネフィットデリバリー・(株)ビーデリサービス3
 - 社を吸収合併
 - 相模原工場新設
 - 爵士客香港控股有限公司設立



食料品事業



外食事業

ジェーシー・コムサ グループ概要

合併統合に伴うトータルフードビジネスへの取り組み強化



2012年3月1日㈱ファンシーコーポレーション、㈱ベネフィットデリバリー、㈱ビーデリサービスを吸収合併しました。





食料品事業

外食事業

ジェーシー・コムサグループの基本方針

成長型事業ポートフォリオを活かした 新たなビジネスチャンスの追求



アジアを視野に入れた新たな収益機会の捕捉



各事業の持続的成長を視野に入れた、斬新な施策の実践



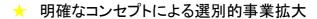
食品事業

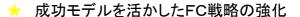
- ★ "小麦ごはん"の浸透による販路拡大
- ★ 生産/物流/販売の一貫管理体制による業務の効率運営
- ★ 「デルソーレ」ブランドの強化





外食事業





★ 宅配事業の収益モデルの確立

















海外事業への取組み



・海外進出の経緯

長引く景気低迷など国内市場の需要拡大が期待しにくい中、当社は長期成長戦略としてグローバル市場の開拓を掲げ、特に中国市場への進出に取り組んでまいりました。2010年にニチレイフーズと中国の海通集団との合弁で日爵海食品貿易(上海)有限公司を、2012年には当社の海外投資の管理会社として爵士客香港控股有限公司を、そして今年は、当社初の海外製造拠点として廊坊欧爵士食品有限公司を設立いたしました。

•今後の展開

今回当社が提携したOSI Groupは世界レベルの大手外食チェーンを顧客に食材(肉・野菜)を供給する世界有数のサプライヤーで、20年前に中国進出し、既に中国国内に8つの工場を有しています。今回はこの内、河北省廊坊市にある工場に合弁会社を設立しました。OSI社が中国で持つ豊富な経験と販売網に、当社が半世紀にわたって培ってきたノウハウを活かすことにより、中国市場での更なる事業拡大を目指していきたいと考えています。

英文コーポレートサイトを開設しました!

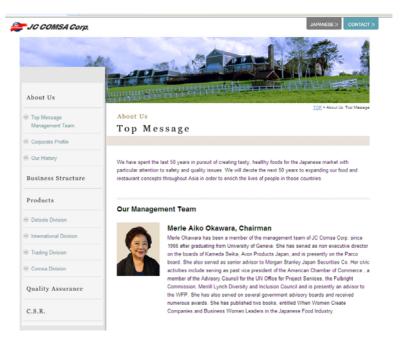
4月1日より新しく英文コーポレートサイトを開設いたしました。英文コーポレートサイトのURLは http://www.jc-comsa.co.jp/english/
です。

和文サイトhttp://www.jc-comsa.co.jp/ の右上部の【English】からもリンクしております。

ー英文サイト開設の狙いー

- ・日本市場の国際化に伴い、広く海外の方に当社の事業内容並びに商品を知っていただくため。
- ・中国での事業展開を起点に我社のグローバル化を目指し、今後の更なる海外事業展開を見据え、海外企業様へのPRを含めたコミュニケーションツールとして活用したい。





生活のあらゆる場面で食の楽しさをご提供!

食料晶事業



ご家庭で









宅配事業





職場で











外出先で





IV. 事業別企業紹介





デルソーレ・ブランドサイトを開設しました!

多くのお客様に当社の商品を知っていただくために、デルソーレの魅力を紹介した「ブランドサイト」を開設しました。

ピザのみならず、ナン・ピタ・フォカッチャ・トルティーヤといった「小麦ごはん」の魅力を発信する情報サイトとしてご活用ください。デルソーレは「小麦ごはん」のプロフェッショナル・ブランドを目指します。

----ブランドサイトの魅力----

「小麦ごはん」のおいしさや楽しさを、より多くのお客様に伝えるためのブランドサイトです。ブランドサイトでは、小麦を主原料とした国々の食文化や世界のおいしいパン、手軽に作れる「小麦ごはんレシピ」、「小麦ごはんをよりおいしく食べるためのヒント」など、「小麦ごはん」に関する情報を紹介しています。



http://delsole-komugigohan.jp/



食品事業の主要商品について(市販商品)





当社の商品は、「デルソーレ」ブランドで百貨店、大手スーパーなどの店頭に並んでいます。 手作り感のある商品を数多く取り揃えております。

■市販・業務用新製品のご案内(2013年春夏商品)

◆市販用



ピザを作って50年! 「ピザ」・「小麦ごはん」のパイオニア・デルソーレが 贈る2013年の新商品をご案内いたします。

●デルソーレ「昔なつかしナポリタンピザ」

サクッとクリスピーな食感の当社自慢のミラノ風クラスト使用。 完熟トマトの果肉とオニオンなどの野菜を煮込んだナポリタン ソースをベースにナチュラルチーズ、ソーセージ、ピーマン、パセリをトッピングした洋食屋さんのピザを再現した、なつかしのナポリタンピザ。希望小売価格398円(税込)

●デルソーレ「世界のピザ メキシカンタコス」

世界中のおいしいピザを楽しめる!世界のピザ第一弾。 サクッとクリスピーな食感のミラノ風クラストに、完熟トマト ソース、ナチュラルチーズ、タコミート、コーンをトッピング。 スパイシーなタコミートがメキシカンテイストのお酒にぴっ たりのピザ。希望小売価格348円(税込)





●デルソーレ「イタリアンピザ チーズフォンデュ」

パリッともちもちの本格ナポリ風クラストに、ホワイトソース、エメンタールチーズ、ゴーダゴールドチーズ、イタリアン産モッツァレラチーズ、チャダーチーズをトッピングしたコクと旨みのきいたチーズを極めたピザ。希望小売価格480円(税込)

■市販・業務用新製品のご案内(2013年春夏商品)

◆業務用



●デルソーレ「カントリービスケット」

アメリカ南部で「ママの味」として、その素朴な味わいが大人気のアメリカンホットビスケットを新発売。メープルシロップやグレービーソースをつけてそのまま、サーモンやエビのガーリックオイル等をのせてオープンサンドにとさまざまな食シーンにぴったり。まわりはサクッと、中はふんわりの新食感をご賞味ください。



食品事業 "小麦ごはん"キャンペーン



ピザを含むエスニックブレッド全般を"小麦ごはん"とし、つつむ、はさむ、まく、のせる・・・

といった簡単クッキングの提案でプロモーション展開をしています。







外食事業のブランド展開について

「串焼処 一番どり」











素材の持ち味を活かしきる天然塩や有機丸大豆醤油など、全ての食材をプロの目で吟味。 串焼きをはじめとした定番 メニーはもちろん、 和の食材を巧みに使い、季節ごとに旬の味とお酒を楽しめるように提案しています。

「郷どり 燦鶏」







新感覚の和み空間は、黒を基調とした大人のための隠れ家風ダイニング。JAS認定地鶏の「阿波尾鶏」のおいしさを十分に引き出した串焼きと鶏料理の数々と旬の逸品料理を堪能できます。

「京鳥」











ハーブで育てられた国内産の厳選されたひなどりと、ひとつひとつ吟味された季節の野菜を丹精こめた天然塩と秘伝のタレで焼き上げました。全国の有名百貨店で取扱っており、串焼きの旨みをご家庭やパーティでご賞味いただけます。

「牛傳」











真に美味なる料理は健康をになう食材から。牛傳ではこの基本に徹底してこだわりました。茶室を思わせる和み空間で大切な人と過ごすくつろぎの大人の時間。指定生産者が育てた山形牛を中心とした国内黒毛和牛種を中心に、全てをプロが吟味した逸品です。

外食事業のブランド展開について

「ハーベスター八雲」



豊かな自然がいきづく農業と漁業の町、北海道八雲町。この豊かな大地に「食」の原点を学び、ほんもののおいしさを研究しています。絶景のパノラマレストランでは地元北海道で収穫された新鮮な食材を使い、季節感あふれる料理を提供しています。

「やくも八景」





当社で運営する「ハーベスター八雲」のある北海道二海郡八雲町。 日本で唯一太平洋と日本海に隣接する町です。この地の豊富な食材から『鶏』『牛』『豚』『馬』と『春・夏・秋・冬』の四季、『海』と『山』とを感じて頂ける逸品料理でもてなす・・・それが『やくも八景』

「ポポラマーマ」





ゆであげ生バスタ ポポラマーマ

生パスタを中心としたカジュアルレストラン。「高品質でおいしいパスタを安く、早く出す」をコンセプトに、100%デュラムセモリナ粉使用の生麺を採用し、50種類以上のパスタを身近なものとして提供しています。また、ピッツァ、サラダ、アンティパスト、デザート等も充実。

「Yagura」





銀座の離れでゆっくり過ごすおとなの串焼・炭火焼肉「yagura」 当社が食材にこだわり、シーンにこだわり、料理にこだわる新コンセプト のお店です。



鯛焼き事業展開について

■ほのぼのたい焼き店舗のご案内

「夢ある街のたいやき屋さん」「おめで鯛 焼き本舗」「ゑびす黄金鯛焼き本舗の3 ブランド39店舗展開中(6/1現在)

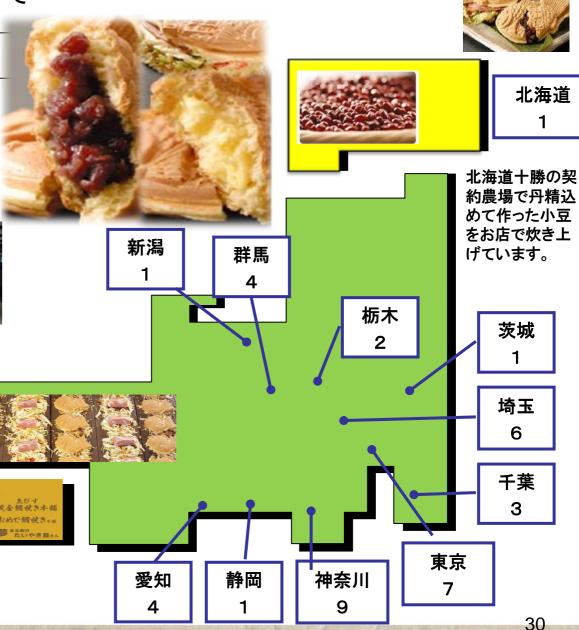
■高速道路SAへの戦略的出店



東名高速足柄SA



常磐道友部SA



ジェーシー・コムサのケータリングサービス

和食・洋食・中華・寿司・オードブル 等豊富なプランが魅力!

- ・ご要望に応じてメニュー提案対応
- ご予算に合わせたドリンク・スナックサービス



- ・セミナー/学会/会社イベント等
- ・ロケ弁(600円~)等
- ・結納・七五三等のお祝い事
- ・会議/PTAの昼食/お偲び料理
- ・季節催事イベント(花火大会/野外イベント等)





お問い合わせ

03 - 5328 - 12619:30~18:00

株式会社ジェーシー・コムサ

本格中華の味をご家庭に

本場の中国人シェフが作る、本格中華料理を お電話一本でお届け致します。

私たち上海エクスプレスの料理人は、中国で 技術を磨いたのち、日本に招かれ腕をふるっています。 是非、本格中華料理をご堪能ください。

宅配事業のブランド展開について



味と素材に徹底的にこだわり、ご注文を 頂いてから本場・上海料理人が鍋を振る、

出来立て本格手づくり宅配中華

上海エクスプレスはすべての工程が手づくり。 ご注文を受けてから料理人がひとつひとつ丁寧に仕上げていきます。

> スープと麺を別々に お持ちします。 だからスープは熱々

宅配事業のブランド展開について



宅配弁当「菱膳」

旬のおいしさと喜びが詰まった 手づくり弁当





和・洋・中、あらゆるジャンルの料理を宅配。



菱膳のお弁当は、四季が織り成す豊かな日本の旬の味に手づくりの 上海エクスプレスでは、本場中国で修行を積んだ料理人が腕を まごごろを込めてひとつひとつ丁寧に詰め合わせています。 四季ごとにプロデュースされる新作弁当は味わうごとに旬のおいしさ を感じていただけるよう創意工夫をしています。 お客様に飽きられないこと、それが菱膳の想いです。

ふるっています。

ぜひ、本格中華料理をご家庭でお楽しみください。



職人があつらえる匠の技。



『松花堂 円山』本店の会席御膳は、 日本料理の正式な膳立てである本膳料理が基本。 厳しい修業をした職人のみが織り成す美しい匠の技から生まれた 彩り美しい会席御膳は他にない贅沢な世界です。 調理過程は仕込から盛り付けまですべて板前の手づくりです。



レストランの味をご家庭で。



ニューヨーク・ニューヨークではお客様にできたてのおい しさを味わっていただくために、高温のオーブンでじっくり と調理しています。

本資料のお取り扱い上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及又は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。